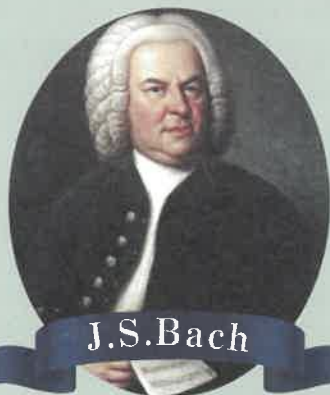


オランダを拠点に活躍する名手による、入魂のバッハ!!

バロックヴァイオリン

山縣さゆり

Sayuri Yamagata,  
baroque violin



チェンバロ

天野乃里子

Noriko Amano,  
cembalo

# バッハの夕べ J.S. Bach Concert

J.S.バッハ ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 全6曲 BWV1014~1019

J.S. Bach 6 Sonatas for Violin and Cembalo BWV1014~1019



2019.9/24(火)

開演19:00(開場18:30)

 浜離宮朝日ホール

朝日新聞社新館2階 TEL.03-5541-8710  
都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ

Tuesday, 24 September at 19:00 Hamarikyu Asahi Hall



【料金】

全自由席:5,000円(税込)

【お問合せ・電話予約】

日本アーティストチケットセンター  
03-5305-4545  
<http://www.nipponartists.jp>

【チケットお取扱い】

- 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990  
(日・祝除く 10:00~18:00)
- チケットぴあ 0570-02-9999  
[Pコード 149090] <http://t.pia.jp>
- イープラス <http://eplus.jp>
- ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード 33669]



## J.S.バッハ ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全6曲 BWV1014~1019

J.S. Bach 6 Sonatas for Violin and Cembalo BWV1014~1019

【演奏作品について / 天野乃里子】

この曲集は、所謂バロック時代のバイオリンソナタでは、ありません。つまり通常の、バイオリンがメロディーで、鍵盤楽器であるチェンバロが伴奏、という形体ではないということです。チェンバロが、基本的には2つの声部を持ち、バイオリンと共に3声の音楽が、あの手この手と種類を変え、時にはバイオリンを、ピオラ音域で、チェンバロの伴奏パートとして使用、またバロックバイオリンの究極の音の美しさを、引き出す伸びやかなメロディーの楽章、または3声のフーガ等、どれを取っていても、珠玉の名曲集に、なっています。普通のバイオリンで、あまり弾かれることの少ないバッハの名曲集です。全曲というのも、欧州においても、希有な機会と話題を呼んでいます。是非、お聴きのがしなさい！！

### Profile

バロックヴァイオリン

## 山縣さゆり

桐朋学園音楽教室、高校、大学にて、モダンヴァイオリンを学ぶ。ヴァイオリンを故鷲見三郎、石井志都子両氏に師事。

学生時代より、バロックヴァイオリンに興味を持ち、有田正弘、有田千代子、鈴木正明、鈴木秀美、若松夏美、寺神戸亮氏らと数多く共演。

1984年、オランダのデン・ハーグ王立音楽院でルーシー・ファン・ダール氏にバロックヴァイオリンを学ぶために渡欧、1987年にソロディプロマを取得し卒業。

1985年、故フランス・ブリュッヘン指揮の「18世紀オーケストラ」のメンバーとなる。同時に、シギスバルト・クイケン指揮の「ラ・プティット・バンド」や、オランダバッハ協会にも加わり、2005年からは、バッハ協会のコンサートマスターを務める。

ヨーロッパの多くの国々、そしてオーストラリア、アメリカ、中国など、世界の各地で数多くのコンサートツアーを行う。

その他様々なアンサンブルと多数のレコーディングを行い、グスタフ・レオンハルト、ボブ・ファン・アスペレン、アンナー・ビルスマ氏らとも共演する。

また主メンバーとして、アンサンブル「ムジカアンフィオン」、「ラルモニアソノーラ」等と、定期的に演奏。

2014年より、アムステルダム音楽院にてバロックヴァイオリンの教師を務めている。



チェンバロ

## 天野乃里子

桐朋学園音楽科卒、慶応大学文学部美学美術史学科卒。その後オランダに留学、ハーグ王立音楽院を経て、アムステルダムスウェーリンク音楽院を、演奏家ディプロマを得て卒業。

数々のアンサンブルとの共演と共に、近年アムステルダムコンサートヘボウ、そして東京文化会館でのソロリサイタルでも好評を博す。ソロCD「バロックの真珠たち」をはじめ、Duo CDなど、ガスパーリー二のオラトリオ世界初演CD録音、ラジオ生放送など多彩な活動をしている。

2016年春、幻の名曲ゴールドベルグ作曲ニ短調チェンバロ協奏曲を東京文化会館にて日本初演し、好評を博す。

2017年、太田彌生作曲によるチェンバロと竜笛の為の曲「平けく 安けく」(天より遣わされた鳳凰と龍が、地を浄め、平安を願い舞う)を東京にて世界初演。好評を博すと共に、世界平和のために音楽を通してできることを常に展開中。



2018年、文化活動として、赤十字の創設者アンリー・デュナン氏にちなんだベネフィットコンサートをアムステルダムにて企画主催など、多彩な活動を行っている。

本年オランダバロック室内オーケストラ(仮称)を設立し、音楽監督として、今秋以降、魅力的なバロックシリーズを、オランダを拠点とし展開予定。



朝日新聞社新館2階 TEL.03-5541-8710  
都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ